

独立行政法人 福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

「過疎地域に住む高齢者の孤立化防止支援事業」

研修会テキスト

(V1.0)

2014年10月

特定非営利活動法人 つれもてネット南紀熊野

はじめに

ICT(Information and Communication Technology)を地域づくりの道具にしようとする活動(地域情報化)に取り組んでいるNPO法人つれもてネット南紀熊野は、独立行政法人福祉医療機構の平成26年度社会福祉振興助成事業の助成を受けて「過疎地域に住む高齢者の孤立化防止支援事業」を行います。

「タブレット端末で 暮らしを便利に 趣味を楽しく 仲間づくり」と題して、田辺市や全国各地にあるシニアネット関係団体と連携し、田辺市内5ヶ所(本宮、龍神、中辺路、大塔、新庄)と、みなべ町の6地域でタブレット端末を使った「学びあいの場」を開きます。

平成25年度情報通信白書によると、全国のインターネットの普及率が約80%に達したそうです。横文字の多いこの世界ですが、スマートフォンやタブレット端末を目にすることが急に多くなりました。タブレット端末を操れるようになることで、高齢者の地域コミュニティへのかかわりが更に広がることを期待したいと思います。

独立行政法人 福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

「過疎地域に住む高齢者の孤立化防止支援事業」

研修会テキスト
(V1.0)

発行元 特定非営利活動法人 つれもてネット南紀熊野

作 成 特定非営利活動法人 つれもてネット南紀熊野
一般財団法人 ニューメディア開発協会

発行日 2014年10月